

# 令和5年度 第1回 東京都北区おたがいさま地域創生会議 次第

令和5年7月25日(火) 午後3時30分～  
赤羽会館 小ホール

## I 開 会

## II 委員委嘱

## III 議 題

### 1. 第1層生活支援コーディネーターより

#### (1) 令和5年度 第1層生活支援コーディネーター活動計画

- ・事業計画
- ・3圏域地域包括ケア連絡会予定
- ・第2層生活支援コーディネーター活動報告

小原委員

### 2. その他

## IV 閉 会

資料1	委員名簿
資料2	東京都北区おたがいさま地域創生会議設置要綱
資料3	令和5年度 第1層生活支援コーディネーター事業計画書
資料4	令和5年度 3圏域の地域包括ケア連絡会予定(案)
資料5	令和5年度 第1層生活支援コーディネーター活動計画
資料6	生活支援体制整備事業 第2層生活支援コーディネーター活動報告
資料7	北区高齢者実態把握調査フォローアップ事業実施状況

## 東京都北区おたがいさま地域創生会議委員

氏 名	備 考
藤原 佳典	学識経験者（東京都健康長寿医療センター研究所 副所長）
碓井 亘	東京都北区医師会代表
前田 茂	東京都北歯科医師会代表
調整中	町会・自治会代表
荒川 正代	民生委員・児童委員代表
平井 孝明	地域活動（ボランティア）団体代表
小松 栄美子	商店街連合会代表
大場 栄作	介護サービス事業者代表
卜部 吉文	介護予防事業者代表
熊木 慶子	地域包括支援センター（生活支援コーディネーター）代表
小原 宗一	社会福祉協議会（地区担当者・生活支援コーディネーター）
長久保 雄司	シルバー人材センター事務局長
村野 重成	福祉部長
尾本 光祥	健康部長
寺田 雅夫	まちづくり部長

## 【事務局】

高齢福祉課長	関谷 幸子	地域福祉課長	長嶋 和宏
長寿支援課長	滝澤 麻子	介護保険課長	新井 好子
地域医療連携推進担当課長	佐藤 巳喜人		

28北福高第2771号  
平成29年3月13日区長決裁

(設置)

第1条 高齢者、介護者及びその家族等が住み慣れた地域で安心して、自分らしい生活を続けることができるよう、地域包括ケアシステムを構築するため、介護保険法（平成9年法律第123号。以下「法」という。）第115条の48第1項に規定する会議（地域ケア推進会議）及び法第115条の45第2項第5号に規定する事業を推進するための会議（協議体）として、東京都北区おたがいさま地域創生会議（以下「創生会議」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 創生会議の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 地域の情報共有及び連携強化の構築に関すること。
- (2) 地域課題の発見及び解決に関すること。
- (3) 地域の社会資源の集約及び活用に関すること。
- (4) 生活支援体制整備のためのサービス資源の開発、人材育成及び人材確保に関すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、区長が必要と認めること。

2 創生会議で協議された事項は、必要に応じ区長に提言することができる。

(委員の構成)

第3条 創生会議は、区長が委嘱又は任命する委員をもって組織し、委員の構成は、別表のとおりとする。

(任期)

第4条 委員の任期は、前条の委嘱若しくは任命の日から3年を経過する日まで又は東京都北区介護保険条例（平成12年3月東京都北区条例第12号）第14条に規定する運営協議会の委員としての任期が満了する日のいずれか早い日までとする。ただし、任期中に別表の委員の職を離れたときは、委員の職を失うものとする。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員の再任は、妨げないものとする。

(会長及び副会長)

第5条 創生会議に会長及び副会長をそれぞれ1人置く。

2 会長は委員の互選によってこれを定め、副会長は委員のうち会長が指名する。

3 会長は、創生会議を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(招集)

第6条 創生会議は、会長が招集し、会長は、会議の議長となる。

2 創生会議は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 創生会議の庶務は、福祉部高齢福祉課が処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、会長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成29年3月13日から施行する。

付 則 (令和4年3月3日副区長専決3北福高第2686号)

この要綱は、令和4年4月1日から適用する。

## 別 表（第3条関係）

医師代表

歯科医師代表

学識経験者

町会・自治会代表

民生・児童委員代表

地域活動（ボランティア）団体代表

商店街連合会代表

介護サービス事業者代表

介護予防事業者代表

社会福祉協議会（地区担当者・生活支援コーディネーター）

地域包括支援センター（生活支援コーディネーター）代表

シルバー人材センター事務局長

福祉部長

健康部参事（地域保健担当）

まちづくり部長

## 令和5年度 第1層生活支援コーディネーター事業計画書

## 【目的】

互いに支え合い、安全で快適に暮らせる地域づくりをめざし、地域における高齢者の生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備に向けた取組みを推進する。

## 【活動方針】

## 1. 第2層生活支援コーディネーターに対するヒアリングの実施

5月～6月に各高齢者あんしんセンターを訪問し、第2層生活支援コーディネーターが把握している地域特性や課題、取り組み状況等を確認し、地域の特徴に合わせた働きかけができるように支援していく。あわせて、令和4年度から導入した自己評価チェック票を使用し、令和5年度の目標設定の確認を行い、取り組みの方向性を確認する。

## 2. 第2層生活支援コーディネーターの活動目標の共有と行動記録（数字）の見える化の検討

ヒアリングで共有した第2層生活支援コーディネーターの活動目標について、達成にむけた進捗管理やサポートを行う。また令和5年度は新たに行動記録PT（仮）を置き、質だけでなく量の見える化もできるよう検討を行う。

## 3. 生活支援の担い手の養成と居場所づくり支援

区とも連携をしながら担い手発掘につながるような講座を実施。そこから第2層生活支援コーディネーターのエリアで活躍できる担い手を育成や居場所づくりにつながるような、流れのある講座を開催する。

## 4. 生活支援コーディネーターに対する研修等の実施

生活支援コーディネーターに必要な知識や技術についての研修を企画・実施する。また、生活支援体制整備事業連絡会も活用し、活動状況を共有することで全体のスキルアップを目指す。

## 5. 協議の場の立上げ・運営支援

地域に多様な主体による活動が促進されるために、小地域で多種多様なメンバーが集まって、課題や資源、必要な仕組み（通いの場や互助の仕組みなど）作り等について定期的に話し合う場の立上げ・運営を支援する。また、三地区および高齢者あんしんセンターごとに実施される地域包括ケア連絡会について、企画運営についても支援する。

## 【具体的な支援内容の例】

- 協議の場づくりのための計画策定の支援（情報提供や助言など）
- 圏域の社会資源に関する情報収集、アセスメント支援
- 協議体のメンバーとなる人材に関する情報提供やコーディネート
- 協議の場の持ち方や運営に関する助言

令和5年度 3 圏域の地域包括ケア連絡会予定（案）

### 1. 王子圏域地域包括ケア連絡会

日時：令和5年10月24日（火） 午後 会場：北とぴあ カナリアホール

テーマ：『地域のつながりの大切さ partⅣ』（仮）

経緯：令和4年度は副題を「孤立をささえるコツ」とし、拒否の強い男性高齢者の事例を町会自治会や民生委員、自主グループなどと検討を行った。令和5年度はその流れを受けて、今まで高齢者あんしんセンターとつながりが薄い、元気な前期高齢者と「孤立」について考えていく予定。

内容：前期高齢者に集まってもらい、認知症すごろくや事例を通し、地域で起こっていることを我がごととして感じてもらう。また孤立しがちな人を地域でささえていく方法について意見交換を行う。

### 2. 赤羽圏域地域包括ケア連絡会

日時：未定

テーマ：『地域のつながりを広げよう』

経緯：令和3年度より、3か年計画で東洋大学と地域住民がつながることができるよう活動を行ってきた。令和4年度で住民・学生双方が集まったグループワークでは「学生がサロンにボランティアに行くという一方的な関係ではなく、おたがい行き来をしてコミュニケーションを深めていくことが、自然な流れでボランティアにつながるのでは」という意見が出た。

内容：昨年度の会議での意見を生かし「学生寮見学」「ボランティア支援室との連携会議」「先生方との連携会議」「学生と地域の交流イベント」など行ってきた。今後は3か年行ってきた振り返りを行いつつ、今まで培ったものを地域で生かせるように報告などをできる場を検討予定。

### 3. 滝野川圏域地域包括ケア連絡会

日時：令和5年11月15日（水） 会場：北とぴあ 飛鳥ホール

テーマ：『その人らしい地域とのつながりを見つけよう partⅡ』

経緯：令和4年度は介護保険だけでは補えない、地域ならではの見守りやつながりの重要性に焦点を当て、フォーマルインフォーマルの垣根を超えた見守りについて意見交換を行った。住民と普段あまりつながりのない障がい団体や介護事業所等ともつながる機会となった。令和5年度はその経過を踏まえてさらに深めていく方向で検討していくこととなった。

内容：令和4年度の連絡会后に、この連絡会をうけ、新しい発想での連携や活動が生まれている。その事例を紹介しながら、さらに多様なつながりを推進していくネットワーク会議を企画している。

資料5

# 令和5年度 第1回 おたがいさま地域創生会議

---

～第1層生活支援コーディネーター活動計画～





# 令和5年度 生活支援コーディネーターの活動計画

## 1 生活支援コーディネーターに対するヒアリングの実施と課題への支援

第2層コーディネーターが把握している地域特性や課題、取り組み状況等を確認し、地域の特徴に合わせた働きかけができるように支援していく。あわせて、令和4年度から導入した自己評価チェック票を使用し、令和5年度の目標設定の確認を行い、取り組みの方向性を確認する。

PLAN(計画)

DO(行動)

CHECK(評価)

ACTION(改善)

記入日 年 月 日

(1) 年度活動予定に関する自己評価

前年度の活動報告書に記載された課題	今年度の活動予定	取り組みの状況(重点的な取り組みは◎)	細目評価	評価	次期に向けたコメント(課題や方針など)

令和4年度の自己評価の記載をもとにヒアリングを行い、令和5年度の計画についてヒアリングをし、一緒に確認を行う（例：豊島）

PLAN(計画)

DO(行動)

CHECK(評価)

ACTION(改善)

(1) 年度活動予定に関する自己評価

前年度の活動報告書に記載された課題	今年度の活動予定	取り組みの状況（重点的な取り組みは◎）	細目評価	評価	次期にむけてのコメント（課題や方針など）
コロナの影響で活動が停滞している団体がある。	シニアクラブ、町会活動、自主グループ団体へ活動状況の確認。	豊八寿会、豊三長寿会出前講座の支援。自主グループの相談支援。	A	A	担い手不足や活動での課題を抱えているので、関係性を維持しながら、組織が楽しく維持継続できるように支援をしていく。
開催できなかった協議体があった	豊島5丁目団地での地域ケア会議の実施	フォローアップ事業として豊島5丁目団地で社会的孤立の男性をターゲットに実施していく予定。◎1/31、2/28地域ケア会議実施。街角アンケートを実施（計10回）。プロジェクト名も決定。次年度、複数イベントを企画していく。	B	A	複数イベントを「カムカム健康とよご男子」の名称で実施をしていく。男性の孤立解消を目指して男性のゆるやかな居場所づくりを目指していく。
開催できなかった協議体があった	おたがいさまネットワーク連絡会の実施	おたがいさまネットワーク協力団体加入促進の声かけ。◎6/1北社協とおたがいさまネットワーク連絡会打ち合わせ実施。7/28実施、振り返り8/31。作戦会議実施のため地域の方へ声かけを実施中。その後の動きができていない。	A	A	居場所作りに向けて少しずつ話を進めていく。
新たな「ささえあい見守り促進補助事業」受託団体への支援	豊島7丁目南町会見守り事業導入にあたっての支援	豊島7丁目南町会、ご近所体験支援（9月より自主化）、認知症サポーター講座を町会としての実施声かけしたが、実施にはつながらなかった。ただし、ポッチャ、ご近所体験が定着され参加者も男性含めて参加者が増えている。	A	A	各町会へご近所体験や認知症サポーター実施、出張相談など声かけをしていく。ポッチャの大会など出来たらとの声もあったので、他機関への普及等にも協力していく。

## 2 第2層生活支援コーディネーターの活動目標の共有と 行動記録（数字）の見える化の検討

### 第2層生活支援コーディネーターと活動目標の共有



第2層生活支援コーディネーターが活動目標をもとに地域の方々と協力しながら形にした取り組みを、地域の方々に少しでもお伝えできるよう、社会福祉協議会のFacebookで不定期に掲載（別紙参照）



## 現在の行動記録 書式 (例)

令和4年度 生活支援/見守りコーディネーター業務 報告書(詳細)

高齢者あんしんセンター

No.	①内容	内容(関わり・働きかけ)						②相手方	相手方区分								③日付	④備考・その他	
		関係形成	連絡調整	会議・事業参加	運営支援	研修・セミナー	その他		住民団体(ex.ボランティア、NPO等)	福祉施設・事業所	行政機関(ex.地域振興室、消防署等)	民生委員	町会自治会(ex.シニアクラブ等)	商店・企業	北社協	医療			その他(ex.大学、区議会議員等)
1	サロン	1			1		1	地域住民	1									月 日	
2	生活支援体制整備事業連絡会			1				北区役所関連課 北区社協			1				1			月 日	
3	サロン	1			1		1	地域住民	1									月 日	
4	打ち合わせ	1					1	薬局薬剤師							1			月: 日	

現在は各コーディネーターごとに、記載方法のばらつきがあり、せっかくの書式が活かされていない  
⇒数字としても生活支援コーディネーターの活動が見えるよう、検討するプロジェクトチームの立ち上げ

### 3 生活支援の担い手の養成と居場所づくり支援

(北区全高齢者実態把握調査データより)

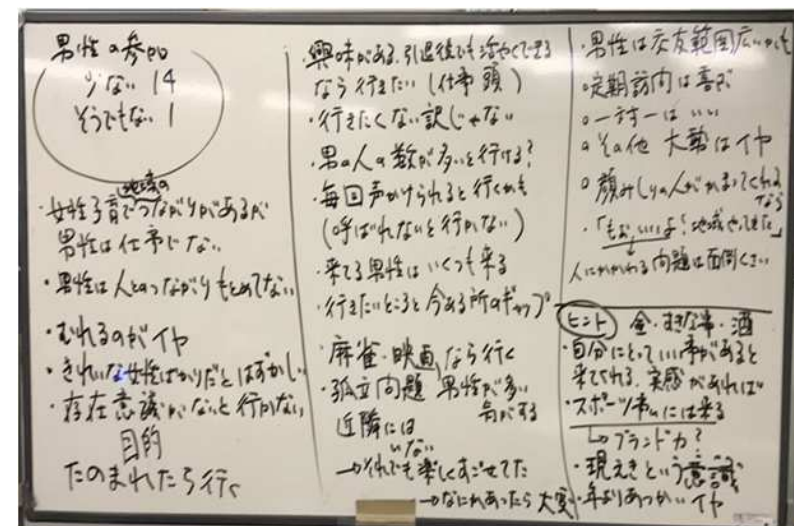
- ・社会的孤立状態にある人の割合が、女性に比べ男性がかなり高い(北区全域 女性 35.8% 男性**57.5%**)



生活支援コーディネーター研修を行い、課題の共有や支援の方法を学ぶ



男性主体の居場所づくりに協力してくれそうなキーパーソンさがし・取り組みに向けたアクション



### 3 生活支援の担い手の養成と居場所づくり支援

#### <企画1>

長寿支援課主催

「担い手づくり講演会」の開催

日時 令和5年9月20日(水)14時～

場所 北とぴあ スカイホール

テーマ 「定年後、何をする？俺の自分探し講座  
～興味や趣味でゆる～くつながろう～」

募集 おおよそ65歳以上の男性50名程度  
⇒現在各コーディネーターがアプローチしている  
キーパーソン候補にも積極的に参加を促す

⇒退職直後の男性がそのまま社会とのつながりが  
立たれ、孤立の道を歩まないよう、早い段階  
からのアプローチを目標

連動

#### <企画2>

北区社会福祉協議会主催

テーマ 「おとはこ(レコードをツールとした活動)  
体験会&地域活動相談会」

(他県ではやっている男性主体で活動している  
ハードルの低い活動体験会&相談会)

日時 令和5年10月中旬頃予定

場所 ぷらっとほーむ滝野川東(案)

募集 企画1の参加者+広報で募集

⇒体験や相談会を通じて、担い手として活動し  
てもらえるような道筋づくり

## 4 生活支援コーディネーターに対する研修の実施

**「認知症すごろく」  
の広がりを学ぼう**

令和5年度  
生活支援  
体制整備事業  
研修

水戸市東部高齢者支援センターで作成した「認知症456(すごろく)」は、おもて面は認知症の進行に応じた症状とともに「もも上げ体操」や「脳トレ」などをマス目に配置し、体や頭を働かせて楽しみながら認知症を学べるように構成。うら面では、認知症の人への声かけの仕方や認知症の人が利用できるサービスなどを紹介しています。住民の方にとって体験しやすく、専門職でなくてもファシリテーターができるような工夫を凝らすことにより、その後の住民を巻き込んだ広がりにつながっています。

今年度はすごろくの体験をしながら、その後の住民を巻き込んでいく広がり作りについて一緒に学ぶ研修を開催したいと思います。

**日時**  
8月8日(火) ←  
午後3時 - 午後5時 ←

**場所** 赤羽会館 大ホール ←  
**講師** 水戸市東部高齢者支援センター  
日高 友紀子 氏 ←  
峯島 みどり 氏 ←

**対象** ←  
生活支援コーディネーターの研修とはなりますが、高齢者あんしんセンターの中で興味のある方もぜひご参加ください。

**申し込み** ←  
7月21日までに参加者を北社協までメールもしくはfaxでご連絡ください。

**資料** ←  
すごろくセットは1包絡、1セットの予定です。それ以上ご希望の場合は1セット1,000円でお配りすることができます。(数量に限りがあります) ←

生活支援コーディネーターの役割として、小地域で多種多様なメンバーが集まって、課題や資源、必要な仕組み作りなどについて定期的に話し合う場の立ち上げや運営が求められている。

しかし、いざ地域に出て「地域課題を話し合いましょう」と持ち掛けることはなかなか容易ではない。

地域課題(今回は認知症)を楽しく学べるゲームを通じて、地域課題についての話し合いや仕組みづくりにつなげられるよう、「地域に課題の共有とその後の展開を広げる」研修会を開催予定

## 5 多様な協議の場づくり支援

### 令和4年度～ 第2層生活支援コーディネーターが取り組んでいる協議の場

継続的な協議の場 令和4年度にたちあげ (準備会議含む)	<ul style="list-style-type: none"><li>・志茂四あゆみの会立ち上げ</li><li>・浮間・赤羽北地区協議体(仮)立ち上げ</li><li>・カムカム健康とよご男子プロジェクト立ち上げ</li></ul>
協議の場運営支援	<ul style="list-style-type: none"><li>・志茂ジェネ協議会</li><li>・めぐりやを中心とした協議体</li><li>・しゅりるを中心とした協議体</li><li>・かいご無料相談室うちあわせ</li><li>・住んで良かった堀船プロジェクト ...等</li></ul> <p>※このほか2層コーディネーター主催ではないが、メンバーとして参加している協議会も多数あり</p>
運営方法を試行錯誤	<ul style="list-style-type: none"><li>・赤北さんさんミーティング</li><li>・桐ヶ丘協議会</li></ul>

2層コーディネーターが呼びかけを行い運営

⇒会議をどのように運営をしていくか、メンバーの声をどのように地域に生かしていくか



## <話題提供>

地域ケア個別会議でとりあげた事例から  
地域包括ケア連絡会のテーマ決めを行う

王子圏域

「地域のつながりの大切さⅢ  
～孤立を支えるコツ～」



滝野川圏域

「その人らしい地域とのつながりを見つけよう」


両方の圏域で出てきた意見

- 介護や福祉の専門職の取り組みだけでは「孤立」を防いだりや「見守り」の目を増やすことは出来ない
- 日常的に交流している住民同士のほうこそお互いの変化に気づきやすい。
- 専門職・住民がお互いに顔を合わせ声かけしやすいよう、「**徒歩圏内**」で顔を合わせて話せる場面を増やす必要性

# 委員の皆様の知っているところで、高齢者が集うのに「この場所使えるのでは？」という所がありませんか？（安価で）

---

例えば…

- ◆空き家やあき店舗
  - ◆個人宅の広い庭
  - ◆広い一軒家に一人でお住まいで、「家にたくさんの人に来てほしい」という希望のある方
  - ◆福祉施設の部屋（使わない日時や曜日があれば…）や
  - ◆公的な施設であまり使っていない場所
  - ◆マンション等集合住宅の集会所や団らん室（住民だけでなく他の地域の方々も参加OK?）
- 

令和5年度より、地域の方々にも2層生活支援コーディネーターの活動が少しでも見えるよう、社会福祉協議会のFacebookにて活動報告を行っています。今回はこれまでに掲載した記事まとめ（抜粋版）を作成しました。

【北区体制整備事業活動報告～西が丘エリア編 「親父のたまり場」】

以前北区で元気なシニア世代行ったアンケートでは「高齢男性は女性に比べて地域交流の場が少ない」という結果が出たことがあります。そんな地域の声を受け、先日西が丘エリアでは高齢男性の方々楽しんで参加してもらえる活動を開催しました。その名も「親父のたまり場」。自然観察公園の炊事スペースを利用して、「かまどを囲んで語らう」シニア男性方が集まりました。

北区で活躍する16名の生活支援コーディネーターさんの活動を、これから社会福祉協議会の生活支援コーディネーターである菅野がご報告していきます。

ご興味のある活動がありましたら、ぜひ北区社会福祉協議会へお問い合わせください！



【北区体制整備事業活動報告～王子光照苑エリア編 「王子2丁目出張八百屋さん」】



王子2丁目エリアにある八百屋さんが残念ながら閉店になってしまいました。近隣に住むの方々にとっては、新鮮な野菜やちょっとしたお総菜を買える大事なお店だったそうです。そんな地域の方々の声を受けて、王子光照苑高齢者あんしんセンターの生活支援コーディネーターさん、エリアの王子2丁目町会さん、エリアの民生委員さんが協力して、同じく王子エリアの八百屋さんに出張販売をしてくれないかお願いをしてみたそうです。

その思いが実り、第1、第3月曜日のお昼、町会会館前に八百屋さんが車の中に様々な野菜を積んできてくれることになりました。そこを楽しみに待つ地域の方々。車の野菜を確認して、次々と注文が入ります。

自転車や車移動の方々には伝わりにくいかもしれませんが、徒歩で行ける買い物の場はとても貴重な社会資源です。

【北区体制整備事業活動報告～みずべの苑エリア編 「志茂四あゆみの会」】

志茂四丁目では、町会・民生委員・シニアクラブ・高齢者あんしんセンターが中心となり「あたたかい心をもって ゆるやかにつながり さりげなくみまもる活動」＝「志茂四あゆみの会」を立ち上げました。

シニアだけの世帯だと「もし倒れたら…」など、様々な不安はありますが、いざ「見守ります！」と言われても、見守られるほうだって緊張しちゃいますよね。そんなこともメンバーで話し合いながら、「ゆるやかに」「さりげなく」をキーワードに、どんな方法で見守っていくのかももうかがったうえで登録制にしています。

5月には、ゆるやかにこの活動を知ってもらうミニイベントを開催。あゆみの会の紹介だけではなく、北区で配布されている救急医療情報キットやエンディングノートの紹介も行い、防災グッズもお土産に無料配布していました。

お互いの気持ちを大事にした地域活動、これからも広げられるよう応援していきます！



【北区体制整備事業活動報告～十条エリア編 「健康麻雀どらどら十条」】



「(お酒を) 飲まない」「(煙草を) すわない」「(お金を) かけない」健康麻雀は、指先のトレーニング、脳トレの効果があると認知症予防として注目をされています。なかでも「仕事中心」だった退職した男性の方々にとっては、参加しやすい地域のコミュニケーションの場としても一役かっています。十条では麻雀の得意なボランティアさんが、初心者フォローや人数合わせができるよう複数人参加してくれています。そしてみんなが楽しめるよう、経験を生かしてマナーやルールを作るのにも協力してくれているそうです。

現在8卓で満員御礼！せっかく参加したいというお声があっても、会場の関係でお断りしなければならない状況だそう。

麻雀経験者の方、その経験を生かして、身近な地域で麻雀ボランティアとして活動してみませんか？昔楽しんでた趣味が、「脳トレ」だけでなく、特技を生かした「生きがいづくり」になっている方も、多数いらっしゃるそうですよ！

## 北区全高齢者実態把握調査フォローアップ事業実施状況

### 1 事業の目的

令和3年度に実施した北区全高齢者実態把握調査（対象：令和3年10月1日時点で北区に在住する満65歳以上で要介護認定を受けていない方）の結果を分析し、各圏域の状況に応じたフレイル予防・介護予防等の取り組みを検討し、実施につなげる。

取り組みにあたっては、PDCAサイクルに沿って事業を展開できるよう、高齢者あんしんセンター職員を対象とする研修、現場支援を実施する。

### 2 令和4年度実施状況（（1）～（3）について東京都健康長寿医療センターが実施）

（1）調査結果の分析と北区全域および19の地域ごとのリーフレットを作成。

（2）（1）のデータ集計・分析結果について、全高齢者あんしんセンターへの説明実施

（3）PDCAサイクルの伴走支援（8圏域）（東京都健康長寿医療センター）

分析結果、圏域ごとのヒアリングで把握した課題に対する活動をPDCAサイクルに沿って立案・実施していけるよう、高齢者あんしんセンター職員を対象とする研修および現場支援を実施。

8圏域：①十条台 ②豊島 ③十条 ④神谷 ⑤浮間 ⑥桐ヶ丘やまぶき荘  
⑦滝野川西 ⑧東田端

（4）各高齢者あんしんセンターで分析結果の周知、地域の状況に合わせた介護予防・フレイル予防等の取り組み、また地域課題解決に向けた取り組みについて検討。

### 3 令和5年度実施予定（（1）～（2）について東京都健康長寿医療センターが実施）

（1）令和4年度PDCAサイクルの伴走支援実施圏域のうち、3圏域でモデル事業の企画・支援。

モデル事業圏域	取り組みの地域	取り組み内容
①豊島	豊島5丁目団地	男性の居場所・役割づくり ～孤立解消をめざして～
②十条	十条	地域資源と連携した食環境の整備 ～男性の食の多様性の向上をめざして～
③神谷	神谷	認知症の予防・共生を目指したつながりづくり

（2）令和5年度新たに4圏域で伴走支援実施のごとの状況に合わせた事業の企画・提案

伴走支援4圏域：①王子 ②赤羽 ③昭和町・堀船（どちらかの圏域）  
④東十条

（3）各高齢者あんしんセンターでの地域の状況に合わせた介護予防・フレイル予防や地域課題解決に向けた取り組みを実施。